

デイリーレポート

船長署名



船名	大島丸	情報発信日時	2024 年 10 月 8 日 12 時 00 分			
現在位置	航海中	12 時 00 分	概位		父島二見港西方	
		<Lat. 27 - 04.5 N / S Long. 142 - 08.8 E / W >				
	停泊中	時 分	概位			
		<Lat. - N / S Long. - E / W >				
	錨泊中	時 分	概位			
		<Lat. - N / S Long. - E / W >				
	操業中	時 分	概位			
		<Lat. - N / S Long. - E / W >				
	観測中	時 分	概位			
		<Lat. - N / S Long. - E / W >				
本船状況 気象海象	針路: Var' 度	船速: Var' kt	天候: bc			
	風向: NE	風速: 3.0 m/s	視界: 7 哩			
	波高: 0.3 m	風浪階級: 2	うねり階級: 1			
乗船者 状況	乗組員	現在員: 19 名	健康状態: 良好	不良		
		摘要:				
	生徒	現在員: 12 名	健康状態: 良好	不良		
		摘要:				
	指導教官	現在員: 3 名	健康状態: 良好	不良		
		摘要:				
	支援員	現在員: 2 名	健康状態: 良好	不良		
		摘要:				
○本船動静						
10月08日09時45分 二見港No.1係船浮標係留						
10月08日10時23分 生徒及び教員通船にて上陸						
10月08日10時50分 二見港No.1係船浮標解纜						
二見港二見桟橋着桟予定: 10月08日15時30分						
○避航・避難理由						
Nil						
【学校側コメント】						
10月8日、夜が明けて生徒起床時、総員が点呼と体操のため、船尾デッキに出てみれば、目の前には小笠原諸島父島がクッキリと見えました！生徒にしてみれば長く感じる2日間だったと思います。我々の感覚では、さほど時化ていた訳ではありませんが船酔いした生徒に苦しい2日間だったと思います。船酔いする生徒もいれば、しない生徒もいる。そしてさほどは酔わない生徒もいる。たった2日間ですが、12名の様々な人間性をさらけ出すのが、こうした環境下での人間の性です。酔っていないながらも手を出して何とかしようと頑張っていた生徒。酔っているから！何もなくてもいい。船酔いは一切せず、俺がやるしかない、私が頑張るしかない、と人知れず黙々と取り組んでいた生徒。入港後、教官から強く反省するよう厳しい一言がありました。 「酔っていた者が今は笑っているけど、その笑いを得るために陰ながら支えてくれた仲間がいたんだぞ！さほどは酔っていないなかった者、何故一歩前に足を出さなかった！手を出して仲間を助けようとしなかった！酔わなかった者、仕方ないや俺がやればいいんだから…ちょっと違うぞ！一声掛けて一緒にやろうぜ！頑張ろうぜ！というのが本当の思いやり・優しさだぞ！」 船長は乗船式の時、困難な時はチームワークで乗り切ろう！と君たちに云ってくれたけど、チームワークは言葉を換えれば「協力」。協力し合う本当の意味を噛みしめ、実行出来る12名になれ！教官の結びの言葉でした。 暑い日差しの中、夕方まで外出して行きました。明日から始まる当地での各種実習には、教官の厳しいお叱りの言葉を胸に真面目に懸命に取り組んで欲しいと思います。						